



北川建材工業(株)

御中

2023年01月度～2023年06月度 コンクリート用化学混和剤(JIS A 6204)試験結果報告書

品 名 マスターポゾリス No. 70-250  
 種 類 AE減水剤 標準形 (I種)

1. コンクリートの試験結果

項 目		JIS A 6204による規定値	形式評価試験値	性能確認試験値	
フレッシュ コンクリート	減 水 率 %	10 以上	13	13	
	ブリーディング量の比 %	70 以下	48	—	
	ブリーディング量の差 $\text{cm}^3/\text{cm}^3$	— 以下	—	—	
	凝結時間の差 分	始 発	-60 ~ +90	+5	±0
		終 結	-60 ~ +90	+5	+5
経時変化量	スランプ cm	— 以下	—	—	
	空気量 %	— 以内	—	—	
硬化 コンクリート	圧縮強度比 %	材齢1日	— 以上	—	
		材齢2日 (5°C)	— 以上	—	
		材齢7日	110 以上	123	119
		材齢28日	110 以上	117	118
	長さ変化比 %	120 以下	99	—	
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)		60 以上	97	—	

注記 1.  $1\text{m}^3$ 当たりの化学混和剤の使用量 形式評価試験  $3.20 \text{ kg/m}^3$  性能確認試験  $3.19 \text{ kg/m}^3$

注記 2. 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、2022年12月 の試験結果である。ただし圧縮強度の性能確認試験は1年に1回実施し、この表に表示している試験値は、2022年06月 の試験結果である。

注記 3. この表に表示している形式評価試験は、2020年08月 に ポゾリス ソリューションズ(株)技術開発センターで実施した試験結果である。

2. 塩化物イオン(Cl<sup>-</sup>)量及び全アルカリ量

項 目	JIS A 6204 による規定値	形式評価試験値	性能確認試験		
			化学混和剤中の含有量	$1\text{m}^3$ 当たりの化学 混和剤の使用量	試 験 値
塩化物イオン(Cl <sup>-</sup> )量	0.02 kg/m <sup>3</sup> 以下	0.00 kg/m <sup>3</sup>	0.02 %	3.19 kg/m <sup>3</sup>	0.00 kg/m <sup>3</sup>
全アルカリ量	0.30 kg/m <sup>3</sup> 以下	0.01 kg/m <sup>3</sup>	0.6 %	3.19 kg/m <sup>3</sup>	0.02 kg/m <sup>3</sup>

注記 1. 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、2022年12月 の試験結果である。

注記 2. この表に表示している形式評価試験は、2020年08月 に ポゾリス ソリューションズ(株)技術開発センターで実施した試験結果である。

3. その他の項目

項 目	規 格 値	試 験 値
密 度 (g/cm <sup>3</sup> , 20°C)	1.04 ~ 1.08	1.06

注記. この表に表示している試験値は、2022年12月 の試験結果である。

注)セメント質量に対する化学混和剤使用量 250ml/C=100kg (原液換算)



北川建材工業(株)

御中

2023年01月度～2023年06月度 コンクリート用化学混和剤(JIS A 6204)試験結果報告書

品名 マスターポゾリス No. 8-250  
 種類 AE減水剤 遅延形 (I種)

1. コンクリートの試験結果

項目		JIS A 6204による規定値	形式評価試験値	性能確認試験値	
フレッシュコンクリート	減水率 %	10 以上	13	13	
	ブリーディング量の比 %	70 以下	56	—	
	ブリーディング量の差 $\text{cm}^3/\text{cm}^2$	— 以下	—	—	
	凝結時間の差分	始発	+60 ~ +210	+80	+85
		終結	0 ~ +210	+85	+110
経時変化量	スランプ cm	— 以下	—	—	
	空気量 %	— 以内	—	—	
硬化コンクリート	圧縮強度比 %	材齢1日	— 以上	—	
		材齢2日 (5℃)	— 以上	—	
		材齢7日	110 以上	120	122
		材齢28日	110 以上	118	121
	長さ変化比 %	120 以下	104	—	
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)	60 以上	96	—		

注記1.  $1\text{m}^3$ 当たりの化学混和剤の使用量 形式評価試験  $3.31\text{ kg/m}^3$  性能確認試験  $3.30\text{ kg/m}^3$

注記2. 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、2022年12月の試験結果である。ただし圧縮強度の性能確認試験は1年に1回実施し、この表に表示している試験値は、2022年06月の試験結果である。

注記3. この表に表示している形式評価試験は、2020年08月に、ポゾリスソリューションズ(株)技術開発センターで実施した試験結果である。

2. 塩化物イオン(Cl<sup>-</sup>)量及び全アルカリ量

項目	JIS A 6204による規定値	形式評価試験値	性能確認試験		
			化学混和剤中の含有量	$1\text{m}^3$ 当たりの化学混和剤の使用量	試験値
塩化物イオン(Cl <sup>-</sup> )量	0.02 kg/m <sup>3</sup> 以下	0.00 kg/m <sup>3</sup>	0.03 %	3.30 kg/m <sup>3</sup>	0.00 kg/m <sup>3</sup>
全アルカリ量	0.30 kg/m <sup>3</sup> 以下	0.02 kg/m <sup>3</sup>	0.5 %	3.30 kg/m <sup>3</sup>	0.02 kg/m <sup>3</sup>

注記1. 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、2022年12月の試験結果である。

注記2. この表に表示している形式評価試験は、2020年08月に、ポゾリスソリューションズ(株)技術開発センターで実施した試験結果である。

3. その他の項目

項目	規格値	試験値
密度 (g/cm <sup>3</sup> , 20℃)	1.08 ~ 1.12	1.10

注記. この表に表示している試験値は、2022年12月の試験結果である。

注)セメント質量に対する化学混和剤使用量 CX0.25% (粉末換算)



北川建材工業(株)

御中

2023年01月度～2023年06月度 **コンクリート用化学混和剤(JIS A 6204)試験結果報告書**

品名 マスターポリヒード 15S  
 種類 AE減水剤 標準形 (I種)

1. コンクリートの試験結果

項目		JIS A 6204による規定値	形式評価試験値	性能確認試験値	
フレッシュコンクリート	減水率 %	10 以上	15	15	
	ブリーディング量の比 %	70 以下	52	—	
	ブリーディング量の差 $\text{cm}^3/\text{cm}^3$	— 以下	—	—	
	凝結時間の差分	始発	-60 ~ +90	+55	+25
		終結	-60 ~ +90	+60	+25
経時変化量	スランプ cm	— 以下	—	—	
	空気量 %	— 以内	—	—	
硬化コンクリート	圧縮強度比 %	材齢1日	— 以上	—	
		材齢2日 (5°C)	— 以上	—	
		材齢7日	110 以上	131	125
		材齢28日	110 以上	120	114
	長さ変化比 %	120 以下	100	—	
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)		60 以上	95	—	

注記1.  $1\text{m}^3$ 当たりの化学混和剤の使用量 形式評価試験  $3.00\text{ kg/m}^3$  性能確認試験  $3.00\text{ kg/m}^3$   
 注記2. 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、2022年12月 の試験結果である。ただし圧縮強度の性能確認試験は1年に1回実施し、この表に表示している試験値は、2022年06月 の試験結果である。  
 注記3. この表に表示している形式評価試験は、2020年08月 に ポゾリス ソリューションズ(株)技術開発センター で実施した試験結果である。

2. 塩化物イオン(Cl-)量及び全アルカリ量

項目	JIS A 6204による規定値	形式評価試験値	性能確認試験		
			化学混和剤中の含有量	$1\text{m}^3$ 当たりの化学混和剤の使用量	試験値
塩化物イオン(Cl-)量	$0.02\text{ kg/m}^3$ 以下	$0.00\text{ kg/m}^3$	0.02 %	$3.00\text{ kg/m}^3$	$0.00\text{ kg/m}^3$
全アルカリ量	$0.30\text{ kg/m}^3$ 以下	$0.04\text{ kg/m}^3$	0.7 %	$3.00\text{ kg/m}^3$	$0.02\text{ kg/m}^3$

注記1. 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、2022年12月 の試験結果である。  
 注記2. この表に表示している形式評価試験は、2020年08月 に ポゾリス ソリューションズ(株)技術開発センター で実施した試験結果である。

3. その他の項目

項目	規格値	試験値
密度 ( $\text{g}/\text{cm}^3$ , 20°C)	1.01 ~ 1.13	1.07

注記. この表に表示している試験値は、2022年12月 の試験結果である。  
 注)セメント質量に対する化学混和剤使用量 CX1.0%



北川建材工業(株)

御中

2023年01月度～2023年06月度 コンクリート用化学混和剤(JIS A 6204)試験結果報告書

品名 マスターポリヒード 15SR  
 種類 AE減水剤 遅延形 (I種)

1. コンクリートの試験結果

項目		JIS A 6204による規定値	形式評価試験値	性能確認試験値	
フレッシュコンクリート	減水率 %	10 以上	15	15	
	ブリーディング量の比 %	70 以下	64	—	
	ブリーディング量の差 $\text{cm}^3/\text{cm}^3$	— 以下	—	—	
	凝結時間の差分	始発	+60 ~ +210	+95	+100
		終結	0 ~ +210	+95	+95
	経時変化量	スランプ cm	— 以下	—	—
空気量 %		— 以内	—	—	
硬化コンクリート	圧縮強度比 %	材齢1日	— 以上	—	
		材齢2日 (5℃)	— 以上	—	
		材齢7日	110 以上	133	124
		材齢28日	110 以上	120	122
	長さ変化比 %	120 以下	100	—	
	凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)	60 以上	93	—	

- 注記 1.  $1\text{m}^3$ 当たりの化学混和剤の使用量 形式評価試験  $3.00\text{ kg/m}^3$  性能確認試験  $3.00\text{ kg/m}^3$   
 注記 2. 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、2022年12月の試験結果である。ただし圧縮強度の性能確認試験は1年に1回実施し、この表に表示している試験値は、2022年06月の試験結果である。  
 注記 3. この表に表示している形式評価試験は、2020年08月に ポゾリス ソリューションズ(株)技術開発センターで実施した試験結果である。

2. 塩化物イオン(Cl<sup>-</sup>)量及び全アルカリ量

項目	JIS A 6204による規定値	形式評価試験値	性能確認試験		
			化学混和剤中の含有量	$1\text{m}^3$ 当たりの化学混和剤の使用量	試験値
塩化物イオン(Cl <sup>-</sup> )量	0.02 kg/m <sup>3</sup> 以下	0.00 kg/m <sup>3</sup>	0.02 %	3.00 kg/m <sup>3</sup>	0.00 kg/m <sup>3</sup>
全アルカリ量	0.30 kg/m <sup>3</sup> 以下	0.04 kg/m <sup>3</sup>	1.3 %	3.00 kg/m <sup>3</sup>	0.04 kg/m <sup>3</sup>

- 注記 1. 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、2022年12月の試験結果である。  
 注記 2. この表に表示している形式評価試験は、2020年08月に ポゾリス ソリューションズ(株)技術開発センターで実施した試験結果である。

3. その他の項目

項目	規格値	試験値
密度 (g/cm <sup>3</sup> , 20℃)	1.01 ~ 1.13	1.08

- 注記. この表に表示している試験値は、2022年12月の試験結果である。  
 注)セメント質量に対する化学混和剤使用量 CX1.0%



北川建材工業(株)

御中

2023年01月度～2023年06月度 コンクリート用化学混和剤(JIS A 6204)試験結果報告書

品名 マスターグレンイウム SP8SV  
 種類 高性能AE減水剤 標準形 (I種)

1. コンクリートの試験結果

項目		JIS A 6204による規定値	形式評価試験値	性能確認試験値	
フレッシュコンクリート	減水率 %	18 以上	18	18	
	ブリーディング量の比 %	60 以下	16	—	
	ブリーディング量の差 $\text{cm}^3/\text{cm}^3$	— 以下	—	—	
	凝結時間の差分	始発	-60 ~ +90	+35	+10
		終結	-60 ~ +90	+25	+20
経時変化量	スランプ cm	6.0 以下	4.0	4.0	
	空気量 %	$\pm 1.5$ 以内	-0.7	-1.1	
硬化コンクリート	圧縮強度比 %	材齢1日	— 以上	—	
		材齢2日 (5°C)	— 以上	—	
		材齢7日	125 以上	155	127
		材齢28日	115 以上	139	122
	長さ変化比 %	110 以下	96	—	
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)		60 以上	97	—	

注記1.  $1\text{m}^3$ 当たりの化学混和剤の使用量 形式評価試験  $3.15\text{ kg/m}^3$  性能確認試験  $3.15\text{ kg/m}^3$

注記2. 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、2022年11月の試験結果である。ただし圧縮強度の性能確認試験は1年に1回実施し、この表に表示している試験値は、2022年05月の試験結果である。

注記3. この表に表示している形式評価試験は、2020年08月にポゾリスソリューションズ(株)技術開発センターで実施した試験結果である。

2. 塩化物イオン(Cl-)量及び全アルカリ量

項目	JIS A 6204による規定値	形式評価試験値	性能確認試験		
			化学混和剤中の含有量	$1\text{m}^3$ 当たりの化学混和剤の使用量	試験値
塩化物イオン(Cl-)量	$0.02\text{ kg/m}^3$ 以下	$0.00\text{ kg/m}^3$	0.01 %	$3.15\text{ kg/m}^3$	$0.00\text{ kg/m}^3$
全アルカリ量	$0.30\text{ kg/m}^3$ 以下	$0.03\text{ kg/m}^3$	0.8 %	$3.15\text{ kg/m}^3$	$0.03\text{ kg/m}^3$

注記1. 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、2022年11月の試験結果である。

注記2. この表に表示している形式評価試験は、2020年08月にポゾリスソリューションズ(株)技術開発センターで実施した試験結果である。

3. その他の項目

項目	規格値	試験値
密度 ( $\text{g}/\text{cm}^3$ , 20°C)	1.03 ~ 1.12	1.05

注記. この表に表示している試験値は、2022年11月の試験結果である。

注)セメント質量に対する化学混和剤使用量 CX0.90%

〒 529-1303 (45104)

滋賀県愛知郡愛荘町長野72-4

北川建材工業㈱

御中

種類 AE減水剤 標準形 (I種)

商品名 チューポールEX20

〒443-86 愛知県蒲郡市蒲町2番5号

竹本油脂株式会社

☎(053)443-8611 118



1. コンクリートの試験結果

項目		JIS A 6204による規定値	形式評価試験値	性能確認試験値	
フレッシュコンクリート	減水率 %	10以上	13	13	
	ブリーディング量の比 %	70以下	55	—	
	ブリーディング量の差 $\text{cm}^3/\text{cm}^2$	—	—	—	
	凝結時間の差分	始発	-60~+90	+10	+10
		終結	-60~+90	+10	+20
	経時変化量	スランプ cm	—	—	—
空気量 %		—	—	—	
硬化コンクリート	圧縮強度比 %	材齢1日	—	—	
		材齢2日(5℃)	—	—	
		材齢7日	110以上	118	
		材齢28日	110以上	114	
	長さ変化比 %	120以下	98	—	
	凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)	60以上	92	—	

注記1 1 $\text{m}^3$ 当たりの化学混和剤の使用量 形式評価試験 0.60 $\text{kg}/\text{m}^3$  性能確認試験 0.60 $\text{kg}/\text{m}^3$

注記2 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、2022年 8月の試験結果である。

ただし、圧縮強度の性能確認試験は1年に1回実施し、この表に表示している試験値は、2022年 9月の試験結果である。

注記3 この表に表示している形式評価試験は、2019年 10月に 竹本油脂株式会社 で実施した試験結果である。

2. 塩化物イオン ( $\text{Cl}^-$ ) 量及び全アルカリ量

項目	JIS A 6204による規定値	形式評価試験値	性能確認試験		
			化学混和剤中の含有量	1 $\text{m}^3$ 当たりの化学混和剤の使用量	試験値
塩化物イオン( $\text{Cl}^-$ )量	0.02 $\text{kg}/\text{m}^3$ 以下	0.00 $\text{kg}/\text{m}^3$	0.03 %	0.60 $\text{kg}/\text{m}^3$	0.00 $\text{kg}/\text{m}^3$
全アルカリ量	0.30 $\text{kg}/\text{m}^3$ 以下	0.03 $\text{kg}/\text{m}^3$	5.6 %	0.60 $\text{kg}/\text{m}^3$	0.03 $\text{kg}/\text{m}^3$

注記1 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、2022年 8月の試験結果である。

注記2 この表に表示している形式評価試験は、2019年 10月に 竹本油脂株式会社 で実施した試験結果である。

3. チューポールEX20 (20%溶液) の品質

化学混和剤中の含有量		密度 ( $\text{g}/\text{cm}^3, 20^\circ\text{C}$ )	
塩化物イオン ( $\text{Cl}^-$ ) 量	全アルカリ量	規格値	試験値
0.01 %	1.1 %	1.04 ~ 1.06	1.051

注記 この表に表示している試験値は、2022年 8月の試験結果である。

〒 529-1303 (45104)

滋賀県愛知郡愛荘町長野72-4

北川建材工業㈱

御中

種類 AE減水剤 遅延形 (I種)

商品名 チューポールNR20

〒443-86 愛知県津市南町2番5号

竹本油脂株式会社

☎ (053) 431-118



1. コンクリートの試験結果

項目		JIS A 6204による規定値	形式評価試験値	性能確認試験値	
フレッシュコンクリート	減水率 %	10以上	13	13	
	ブリーディング量の比 %	70以下	52	—	
	ブリーディング量の差 $\text{cm}^3/\text{cm}^3$	—	—	—	
	凝結時間の差分	始発	+60～+210	+80	+70
		終結	0～+210	+85	+80
	経時変化量	スランプ cm	—	—	—
空気量 %		—	—	—	
硬化コンクリート	圧縮強度比 %	材齢1日	—	—	
		材齢2日(5℃)	—	—	
		材齢7日	110以上	118	
		材齢28日	110以上	114	
	長さ変化比 %	120以下	98	—	
	凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)	60以上	92	—	

注記1 1  $\text{m}^3$ 当たりの化学混和剤の使用量 形式評価試験 0.60  $\text{kg}/\text{m}^3$  性能確認試験 0.60  $\text{kg}/\text{m}^3$

注記2 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、2022年 8月の試験結果である。  
ただし、圧縮強度の性能確認試験は1年に1回実施し、この表に表示している試験値は、2022年 9月の試験結果である。

注記3 この表に表示している形式評価試験は、2019年 8月に竹本油脂株式会社で実施した試験結果である。

2. 塩化物イオン ( $\text{Cl}^-$ ) 量及び全アルカリ量

項目	JIS A 6204による規定値	形式評価試験値	性能確認試験		
			化学混和剤中の含有量	1 $\text{m}^3$ 当たりの化学混和剤の使用量	試験値
塩化物イオン ( $\text{Cl}^-$ ) 量	0.02 $\text{kg}/\text{m}^3$ 以下	0.00 $\text{kg}/\text{m}^3$	0.01 %	0.60 $\text{kg}/\text{m}^3$	0.00 $\text{kg}/\text{m}^3$
全アルカリ量	0.30 $\text{kg}/\text{m}^3$ 以下	0.03 $\text{kg}/\text{m}^3$	4.9 %	0.60 $\text{kg}/\text{m}^3$	0.03 $\text{kg}/\text{m}^3$

注記1 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、2022年 8月の試験結果である。

注記2 この表に表示している形式評価試験は、2019年 8月に竹本油脂株式会社で実施した試験結果である。

3. チューポールNR20 (20%溶液) の品質

化学混和剤中の含有量		密度 ( $\text{g}/\text{cm}^3, 20^\circ\text{C}$ )	
塩化物イオン ( $\text{Cl}^-$ ) 量	全アルカリ量	規格値	試験値
0.00 %	1.0 %	1.04 ~ 1.06	1.051

注記 この表に表示している試験値は、2022年 8月の試験結果である。

〒 529-1303 (45104)

滋賀県愛知郡愛荘町長野72-4

北川建材工業㈱

御中

種類 AE減水剤 標準形 (I種)

商品名 チューポールEX60

〒443-8611 愛知県蒲郡市海門2番5号

竹本油脂株式会社

☎ (053) 681118



1. コンクリートの試験結果

項目		JIS A 6204による規定値	形式評価試験値	性能確認試験値	
フレッシュコンクリート	減水率 %	10以上	15	15	
	ブリーディング量の比 %	70以下	48	—	
	ブリーディング量の差 $\text{cm}^3/\text{cm}^3$	—	—	—	
	凝結時間の差分	始発	-60~+90	+30	+30
		終結	-60~+90	+30	+20
	経時変化量	スランプ cm	—	—	—
空気量 %		—	—	—	
硬化コンクリート	圧縮強度比 %	材齢1日	—	—	
		材齢2日(5℃)	—	—	
		材齢7日	110以上	125	125
		材齢28日	110以上	116	114
	長さ変化比 %	120以下	98	—	
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)		60以上	94	—	

注記1 1 $\text{m}^3$ 当たりの化学混和剤の使用量 形式評価試験 3.00 kg/ $\text{m}^3$  性能確認試験 3.00 kg/ $\text{m}^3$

注記2 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、2022年 8月の試験結果である。

ただし、圧縮強度の性能確認試験は1年に1回実施し、この表に表示している試験値は、2022年 9月の試験結果である。

注記3 この表に表示している形式評価試験は、2019年 10月に竹本油脂株式会社で実施した試験結果である。

2. 塩化物イオン ( $\text{Cl}^-$ ) 量及び全アルカリ量

項目	JIS A 6204による規定値	形式評価試験値	性能確認試験		
			化学混和剤中の含有量	1 $\text{m}^3$ 当たりの化学混和剤の使用量	試験値
塩化物イオン( $\text{Cl}^-$ )量	0.02 kg/ $\text{m}^3$ 以下	0.00 kg/ $\text{m}^3$	0.01%	3.00 kg/ $\text{m}^3$	0.00 kg/ $\text{m}^3$
全アルカリ量	0.30 kg/ $\text{m}^3$ 以下	0.07 kg/ $\text{m}^3$	2.2%	3.00 kg/ $\text{m}^3$	0.07 kg/ $\text{m}^3$

注記1 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、2022年 8月の試験結果である。

注記2 この表に表示している形式評価試験は、2019年 10月に竹本油脂株式会社で実施した試験結果である。

3. チューポールEX60の品質

化学混和剤中の含有量		密度 ( $\text{g}/\text{cm}^3, 20^\circ\text{C}$ )	
塩化物イオン( $\text{Cl}^-$ )量	全アルカリ量	規格値	試験値
0.01 %	2.2 %	1.06 ~ 1.12	1.085

注記 この表に表示している試験値は、2022年 8月の試験結果である。



〒 529-1303 (45104)

滋賀県愛知郡愛荘町長野72-4

北川建材工業㈱

御中

種類 AE減水剤 遅延形 (I種)

商品名 チューポールEX60R

〒443-86 愛知県津市津町2番5号

竹本油脂株式会社

☎ (053) 681118



1. コンクリートの試験結果

項目		JIS A 6204による規定値	形式評価試験値	性能確認試験値	
フレッシュコンクリート	減水率 %	10以上	15	15	
	ブリーディング量の比 %	70以下	52	—	
	ブリーディング量の差 $\text{cm}^3/\text{cm}^3$	—	—	—	
	凝結時間の差分	始発	+60～+210	+90	+90
		終結	0～+210	+80	+80
	経時変化量	スランプ cm	—	—	—
空気量 %		—	—	—	
硬化コンクリート	圧縮強度比 %	材齢1日	—	—	
		材齢2日(5℃)	—	—	
		材齢7日	110以上	126	127
		材齢28日	110以上	116	116
	長さ変化比 %	120以下	97	—	
	凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)	60以上	94	—	

注記1 1  $\text{m}^3$ 当たりの化学混和剤の使用量 形式評価試験 3.00  $\text{kg}/\text{m}^3$  性能確認試験 3.00  $\text{kg}/\text{m}^3$

注記2 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、2022年 8月の試験結果である。

ただし、圧縮強度の性能確認試験は1年に1回実施し、この表に表示している試験値は、2022年 9月の試験結果である。

注記3 この表に表示している形式評価試験は、2019年 8月に竹本油脂株式会社で実施した試験結果である。

2. 塩化物イオン ( $\text{Cl}^-$ ) 量及び全アルカリ量

項目	JIS A 6204による規定値	形式評価試験値	性能確認試験		
			化学混和剤中の含有量	1 $\text{m}^3$ 当たりの化学混和剤の使用量	試験値
塩化物イオン ( $\text{Cl}^-$ ) 量	0.02 $\text{kg}/\text{m}^3$ 以下	0.00 $\text{kg}/\text{m}^3$	0.01 %	3.00 $\text{kg}/\text{m}^3$	0.00 $\text{kg}/\text{m}^3$
全アルカリ量	0.30 $\text{kg}/\text{m}^3$ 以下	0.06 $\text{kg}/\text{m}^3$	2.0 %	3.00 $\text{kg}/\text{m}^3$	0.06 $\text{kg}/\text{m}^3$

注記1 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、2022年 8月の試験結果である。

注記2 この表に表示している形式評価試験は、2019年 8月に竹本油脂株式会社で実施した試験結果である。

3. チューポールEX60Rの品質

化学混和剤中の含有量		密度 ( $\text{g}/\text{cm}^3, 20^\circ\text{C}$ )	
塩化物イオン ( $\text{Cl}^-$ ) 量	全アルカリ量	規格値	試験値
0.01 %	2.0 %	1.06 ~ 1.12	1.081

注記 この表に表示している試験値は、2022年 8月の試験結果である。

〒 529-1303 (45104)

滋賀県愛知郡愛荘町長野72-4

北川建材工業(株)

御中

種類 高性能AE減水剤 標準形 (I種)

商品名 チューポールHP-11



1. コンクリートの試験結果

項目		JIS A 6204による規定値	形式評価試験値	性能確認試験値	
フレッシュコンクリート	減水率 %	18以上	19	19	
	ブリーディング量の比 %	60以下	19	—	
	ブリーディング量の差 $\text{cm}^3/\text{cm}^2$	—	—	—	
	凝結時間の差分	始発	-60~+90	+10	$\pm 0$
		終結	-60~+90	$\pm 0$	+10
	経時変化量	スランプ cm	6.0以下	4.5	4.5
空気量 %		$\pm 1.5$ 以内	-0.7	-0.7	
硬化コンクリート	圧縮強度比 %	材齢1日	—	—	
		材齢2日(5℃)	—	—	
		材齢7日	125以上	152	152
		材齢28日	115以上	136	135
	長さ変化比 %	110以下	97	—	
	凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)	60以上	90	—	

注記1 1 $\text{m}^3$ 当たりの化学混和剤の使用量 形式評価試験 2.80 $\text{kg}/\text{m}^3$  性能確認試験 2.80 $\text{kg}/\text{m}^3$

注記2 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、2022年9月の試験結果である。  
ただし、圧縮強度の性能確認試験は1年に1回実施し、この表に表示している試験値は、2022年10月の試験結果である。

注記3 この表に表示している形式評価試験は、2020年9月に竹本油脂株式会社で実施した試験結果である。

2. 塩化物イオン ( $\text{Cl}^-$ ) 量及び全アルカリ量

項目	JIS A 6204による規定値	形式評価試験値	性能確認試験		
			化学混和剤中の含有量	1 $\text{m}^3$ 当たりの化学混和剤の使用量	試験値
塩化物イオン ( $\text{Cl}^-$ ) 量	0.02 $\text{kg}/\text{m}^3$ 以下	0.00 $\text{kg}/\text{m}^3$	0.00%	2.80 $\text{kg}/\text{m}^3$	0.00 $\text{kg}/\text{m}^3$
全アルカリ量	0.30 $\text{kg}/\text{m}^3$ 以下	0.05 $\text{kg}/\text{m}^3$	1.8%	2.80 $\text{kg}/\text{m}^3$	0.05 $\text{kg}/\text{m}^3$

注記1 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、2022年9月の試験結果である。

注記2 この表に表示している形式評価試験は、2020年9月に竹本油脂株式会社で実施した試験結果である。

3. チューポールHP-11の品質

化学混和剤中の含有量		密度 ( $\text{g}/\text{cm}^3, 20^\circ\text{C}$ )	
塩化物イオン ( $\text{Cl}^-$ ) 量	全アルカリ量	規格値	試験値
0.00 %	1.8 %	1.03 ~ 1.11	1.073

注記 この表に表示している試験値は、2022年9月の試験結果である。



〒140-0014  
東京都品川区大井 1-20-16  
リシェ大井 803 号室  
フォスロークロート株式会社



北川建材工業株式会社 御中

2023 年 1 月度～6 月度 コンクリート用化学混和剤 (JISA 6204) 試験結果報告書

品名 オーラミックス (Auramix) 150

種類 AE 減水剤 標準形 (I 種)

### 1. コンクリート試験結果

	項目	JIS A 6204 に よる既定値	形式評価 試験値	性能確認 試験値	
フレッシュ コンクリート	減水率 %	10 以上	15	15	
	ブリーディング量の比 %	70 以下	46	—	
	凝結時間の差 分	始発	-60～+ 90	+ 40	+ 40
		終結	-60～+ 90	+ 30	+ 40
	経時変化量	スランプ cm	—	—	—
空気量 %		—	—	—	
硬化 コンクリート	圧縮強度比 %	材齢 7 日	110 以上	125	119
		材齢 28 日	110 以上	118	114
	長さ変化比 %	120 以下	96	—	
	凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)	60 以上	84	—	

注記 1  $1\text{m}^3$  当たりの化学混和剤の使用量 形式評価試験  $2.10\text{kg}/\text{m}^3$ 、性能確認試験  $2.40\text{kg}/\text{m}^3$

(注) セメント質量に対する化学混和剤の使用量 形式評価試験  $C \times 0.7\%$ 、性能確認試験  $C \times 0.8\%$

注記 2 性能確認試験は 6 ヶ月毎に実施し、この表に表示している試験値は、2022 年 11 月の試験結果である。ただし、圧縮強度の性能確認試験は年に 1 回実施し、この表に表示している試験値は 2022 年 5 月の試験結果である。

注記 3 この表に表示している形式評価試験値は、2016 年 11 月に韓国 SGS 社で実施した試験結果である。

### 2. 塩化物イオン (Cl<sup>-</sup>) 量及び全アルカリ量

項目	JIS A 6204 に よる既定値	形式評価 試験値	性能確認試験		
			化学混和剤の 含有量	$1\text{m}^3$ 当たりの化学 混和剤の使用量	試験値
塩化物イオン (Cl <sup>-</sup> )	$0.02\text{kg}/\text{m}^3$ 以下	$0.00\text{kg}/\text{m}^3$	0.00%	$2.40\text{kg}/\text{m}^3$	$0.00\text{kg}/\text{m}^3$
全アルカリ量	$0.30\text{kg}/\text{m}^3$ 以下	$0.05\text{kg}/\text{m}^3$	1.60%	$2.40\text{kg}/\text{m}^3$	$0.04\text{kg}/\text{m}^3$

注記 1 性能確認試験は 6 ヶ月毎に実施し、この表に表示している試験値は 2022 年 11 月の試験結果である。

注記 2 この表に表示している形式評価試験値は、2016 年 11 月に韓国 SGS 社で実施した試験結果である。

### 3. その他の項目

項目	既定値	試験値
密度 ( $\text{g}/\text{cm}^3$ , $20^\circ\text{C}$ )	1.04 ~ 1.10	1.06

注記 この表に表示している試験値は、2022 年 11 月の試験結果である。

〒140-0014  
 東京都品川区大井 1-20-16  
 リシェビル 803号室  
 フォスロークラウド株式会社

北川建材工業株式会社 御中

2023年1月度～6月度 コンクリート用化学混和剤 (JISA6204) 試験結果報告書

品名 オーラミックス (Auramix) 158

種類 AE 減水剤 遅延形 (I種)

### 1. コンクリート試験結果

	項目	JISA6204 による既定値		形式評価試験値	性能確認試験値	
フレッシュ コンクリート	減水率 %	10 以上		15	15	
	ブリーディング量の比 %	70 以下		50	—	
	凝結時間の差 分	始発	+60 ~ +210		+75	+100
		終結	0 ~ +210		+80	+120
	経時変化量	スランプ cm	—		—	—
空気量 %		—		—	—	
硬化 コンクリート	圧縮強度比 %	材齢 7 日	110 以上		130	124
		材齢 28 日	110 以上		121	120
	長さ変化比 %	120 以下		100	—	
	凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)	60 以上		94	—	

注記 1 1m<sup>3</sup>当たりの化学混和剤の使用量 形式評価試験 2.40kg/m<sup>3</sup>、性能確認試験 2.40kg/m<sup>3</sup>

(注) セメント質量に対する化学混和剤の使用量 形式評価試験 C×0.8%、性能確認試験 C×0.8%

注記 2 性能確認試験は6ヶ月毎に実施し、この表に表示している試験値は、2022年11月の試験結果である。ただし、圧縮強度の性能確認試験は年に1回実施し、この表に表示している試験値は2022年5月の試験結果である。

注記 3 この表に表示している形式評価試験値は、2018年5月に(一財)日本建築総合試験所で実施した試験結果である。

### 2. 塩化物イオン (Cl<sup>-</sup>) 量及び全アルカリ量

項目	JISA6204 による既定値	形式評価試験値	性能確認試験		
			化学混和剤の含有量	1m <sup>3</sup> 当たりの化学混和剤の使用量	試験値
塩化物イオン (Cl <sup>-</sup> )	0.02kg/m <sup>3</sup> 以下	0.00 kg/m <sup>3</sup>	0.04%	2.40kg/m <sup>3</sup>	0.00 kg/m <sup>3</sup>
全アルカリ量	0.30kg/m <sup>3</sup> 以下	0.02 kg/m <sup>3</sup>	0.60%	2.40kg/m <sup>3</sup>	0.01 kg/m <sup>3</sup>

注記 1 性能確認試験は6ヶ月毎に実施し、この表に表示している試験値は2022年11月の試験結果である。

注記 2 この表に表示している形式評価試験値は、2018年5月に(一財)日本建築総合試験所で実施した試験結果である。

### 3. その他の項目

項目	既定値	試験値
密度 (g/cm <sup>3</sup> , 20°C)	1.05 ~ 1.12	1.09

注記 この表に表示している試験値は、2022年11月の試験結果である。